

島根県知事 澄田信義 様

提言書

～よりよい大手前通りのみちづくりに関する提言書～



「松江城二の丸に咲くなんじゃもんじゃ」

平成19年2月

大手前通りみちづくり委員会

はじめに

平成7年 大手前通りは松江市総合都市交通体系における内循環線として位置づけられました。『文化の香り高い松江のみちづくり・裁判所前通りの道路拡幅計画』として、大手前通りの道路計画が産声をあげた時といえます。内循環線に位置づけられて以来、大手前通りをめぐる地区懇談会やまちづくり協議会、ワークショップなど様々な会合や話し合いがなされ、ついに昨年8月より、地区の代表が中心となって、専門的なアドバイザーの方々も加わり「大手前通りみちづくり委員会」が発足しました。委員会では、みちづくりの基本方針やキャッチフレーズの検討を通じて、議題である街路樹や舗装材の性質など様々な点について活発に議論をし、各分野の専門委員の方々からは都市景観、医療福祉、歴史、商業、観光などの観点から検討を重ねて参りました。

検討の結果、景観整備5つの基本方針として「過去から現在までのタイムラインを演出する景観づくり」「まちからお城と堀川が見える視点場を活かした景観づくり」「憩い賑わえる歩行空間づくり」「安全で快適な歩行空間づくり」「地域住民のニーズにあった景観づくり」、そして整備テーマのキャッチフレーズとして「憩いと賑わいを創造する 城下町松江のシンボルロード」を選定しました。

「みちづくり・まちづくり」には終わりがありません。次世代に引き継げる安全で快適な、そして美しく、住みやすく、訪れる方も楽しめる大手前通りとなるように願っています。

つきましては、約半年間の検討結果を別紙にまとめましたのでご提言申し上げます。この提言推進に向けご協力・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

大手前通りみちづくり委員会



提言要旨

大手前通りが、より安全で・誰もが使いやすく・憩いと賑わいがあり、全国に誇れる有名な通となるよう、以下の5つを提言します。

◆提言 1

「四季を感じられ松江との縁がある街路樹を」

- ・全国に類のない個性ある通りにするために、松江城二の丸に植えてある木から採種育成した「なんじゃもんじゃ」を植えることを提言します。

◆提言 2

「城下町松江の歴史・文化を感じられるみちを」

- ・沿道からは家屋の基礎や石組み水路として使われている来待石、大海崎石、島石が数多く出土しています。これらの石を有効活用することを提言します。
 - ①花壇やベンチなどみちの素材として活用
 - ②石組み水路の一部を保存・移設
 - ③松江城石垣修復工事へ活用
- ・調査された沿道の歴史を紹介する案内看板を設置することを提言します。
- ・沿道空間と調和したみちづくりを提言します。

◆提言 3

「誰もが使いやすい安全で快適なみちを」

- ・段差の少ない、歩きやすい舗装、点字ブロックの設置など誰もが使いやすく安全で快適なみちづくりを望みます。ユニバーサルデザインに配慮したみちづくりを提言します。

◆提言 4

「親しまれる大手前通りへ」

- ・ 高齢者がひと休みできるベンチを備え、水を感じることのできる小公園の設置を提言します。
- ・ 大手前通りでの躰行列やなんじゃもんじゃの開花にあわせた祭りを提言します。そして、それらのイベントの実現に向け、大手前通り沿道地区が一体となった組織づくりを提言します。
- ・ 植樹・清掃活動を通じて愛着あるみちづくりを提言します。

◆提言 5

「水辺を感じられるみちを」

- ・ 米子橋周辺を親水性のある護岸にすることを提言します。



大手前通りみちづくり委員会

平成18年8月～平成19年2月

委員長	熊野 稔	徳山工業高等専門学校 助教授
副委員長	辻 謙次	住みやすく賑わいのある大手前通りをめざす会 会長
	長山宗美	島根県景観アドバイザー
	山本隆志	社団法人島根県物産協会 理事長
	江沢 勉	松江商工会議所 振興課長
	内田文恵	大手前通りの歴史を調べる会 委員
	平本映子	デザイナー
	浅野 紳	社会福祉法人島根ライトハウス 業務課長
	福井幸夫	松江市身障者福祉協会 会長
	原田豊己	松江あけの星幼稚園 園長
	梶谷幹雄	松江赤十字病院 事務副部長
	岩田幸介	南殿町町内会 会長
	須田 学	北殿町町内会 会長
	高木 茂	母衣町まちづくりを考える会 代表
	山本正利	米子町まちづくりを考える会 代表
	石原一男	南田町まちづくりを考える会 代表

(順不同)

検討経過

大手前通り（都市計画道路城山北公園線）は、平成15年3月28日に都市計画決定され、このうち第1工区（物産館～旧みしまや田町店）L=620mが平成16年1月30日から着手されています。

大手前通りの整備については今日まで様々な意見交換がなされてきましたが、よりよいみちづくりを進めるにあたり、地元が主体となって検討しなければならないと考え、母衣町・米子町・南田町のまちづくりを考える会代表、北殿町及び南殿町町内会長、地元住民有志による住みやすく賑わいのある大手前通りをめざす会会長の6名が地元の代表として発足会を結成しました。

発足会を中心にして、都市景観等の専門家や各分野の代表を交え、大手前通りみちづくり委員会を設置し、平成18年8月10日に第1回大手前通りみちづくり委員会を開催いたしました。

平成18年 6月 9日(金) 第1回発足会を開催

平成18年 6月 23日(金) 第2回発足会を開催

平成18年 8月 10日(木) 第1回大手前通りみちづくり委員会を開催

平成18年 9月 27日(水) 第3回発足会を開催

平成18年 11月 3日(金) 第2回大手前通りみちづくり委員会を開催

平成18年 12月 28日(木) 第4回発足会を開催

平成19年 2月 3日(土) 第3回大手前通りみちづくり委員会を開催

資 料

提言 1 四季を感じられ松江との縁がある街路樹を

以下の観点から、樹種の選定を行った結果、松江城二の丸に植えられている木から採種育成したなんじゃもんじゃ(ヒトツバタゴ)が最も相応しいと考えています。

街路樹を選定した観点

- ①人が集まるような珍しい木であること。
- ②四季折々の移ろいを感じられる木であること。
- ③話題性のある木であること。
- ④松江に縁のある木であること。

(通称) なんじゃもんじゃ

ヒトツバタゴ【モクセイ科・広葉落葉樹】

5月頃に白い花を咲かせます。

愛知県、岐阜県、長崎県対馬市に自生する珍木。

松江市内では、

- ・松江城(二ノ丸広場周辺ほか数カ所)
- ・東京橋北側(中国電力島根支社前)

に植栽されています。



松江城二ノ丸から採取・育成したなんじゃもんじゃを使ってください

街路樹には、松江城二ノ丸に植えられている木から採種・育成した「なんじゃもんじゃ」を使用してください。

松江のなんじゃもんじゃは、故 杉坂治さんが韓国光州市で自生樹から採種し育てた苗木を故郷松江市へ寄贈したものです。

日本国内のものより花びらが長く繊細で、ふさふさとした花に覆われた樹形の美しさは格別のものであります。

なんじゃもんじゃは近年全国的に人気が高まり公園、街路樹などの植栽が増えています。



写真提供：松江洞陀羅会

提言 2 城下町松江の 歴史・文化を感じられるみちを

家屋の基礎や石組み水路に使われていた来待石、大海崎石、島石などの石は、江戸時代に城下町松江が形成される過程で、松江の周辺から運ばれてきたものであり、地域特有の素材です。これらの石をみちの素材として活かしてはいかがでしょうか。また、整備の過程では城下町の成り立ちや歴史について調査されています。これらの調査結果をもとに城下町の歴史を後世に伝えるべく歴史看板を設置してはいかがでしょうか。

出土した石の多くは松江の周りから運ばれてきたものです



来待石〔凝灰質砂岩〕

やや黒っぽい灰色で柔らかい江戸時代には「おん止め石」として藩外に持ち出しを禁じられるほど重要視されていました。

忌部石〔複輝石安山岩〕

青黒く硬い

嫁ヶ島石〔カンラン石粗面玄武岩〕

黒く硬い

島石(大根島)〔カンラン玄武岩〕

青黒く硬い
表面に小さな穴があいています。「おん止め石」として重要視されていました。

大海崎石〔角閃石粗面安山岩〕

淡い灰色又は淡い桃色
「おん止め石」として重要視されていました。

矢田石〔角閃石粗面玄武岩〕

青黒く硬い

石の特徴にあわせ石垣や排水溝など様々な用途に使われていました



大海崎石の石積



島石の石積の中につくられた来待石の排水溝

沿線から出土した石材を小公園整備やベンチなどに活用してはいかがでしょうか



来待石ベンチ（大手前通り母衣町バス停）
沿線より出土した石を利用したベンチを設置しています。



出土した石を利用したレリーフ（大手前通り母衣町バス停）
沿線より出土した石を、歩道にレリーフ風に埋め込んでいます。



沿道から出土した石

これらをスポット整備やベンチなどに有効活用してはいかがでしょうか。

歴史を伝える看板を設置してはいかがでしょうか



城下町遺跡発掘調査現地見学会の様子（ダルマ堂跡）



歴史看板のある小公園 事例（福島県須賀川市）

沿道の街並みと調和した道にしてください



提言3 誰もが使いやすい安全で快適なみちを

以下の観点から、歩道の舗装材の選定を行った結果、舗装材は自然石平板(御影石)、色は黒御影の彩度を抑えた色とし、走行性を考慮し進行方向に対して平行に配置する事が最良と考えています。

また、車道からの歩行者の見えやすさやお城への眺めに配慮した樹木の配置をしてください。

歩道の舗装材を選定した観点

- ①目地の少ない舗装材
- ②平坦性に富んだ舗装材
- ③滑りにくい舗装材
- ④彩度が低い舗装色

街路樹の配置における配慮点

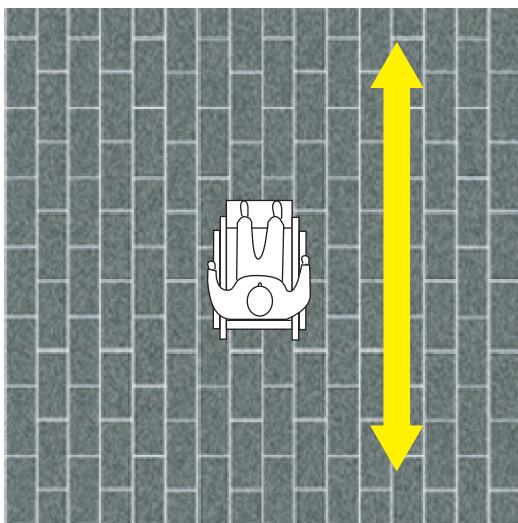
- ①交差点部の視距への配慮
- ②視点場からの視界への配慮

自然石(グレー)の平板の舗装

黒御影石は彩度が低く、歴史的まちなみにも調和しやすいと考えます。点字ブロック等も認識しやすくなり、安全な歩行空間を実現できます。



進行方向に平行に配置してください



車輪が目地を踏む頻度が少ないので走行・歩行しやすい。

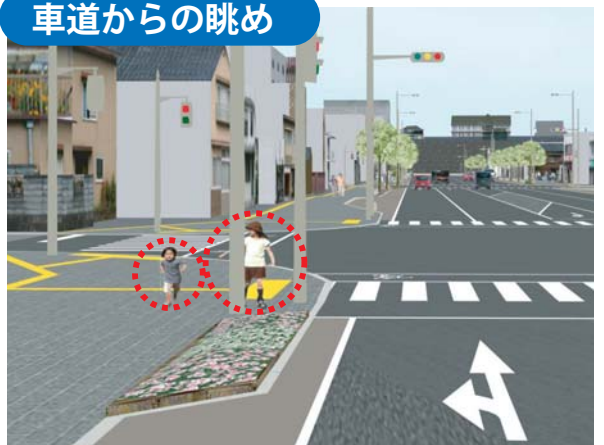
視点場からお城への眺めをできる限り街路樹が阻害しない配慮をしてください

視点場からの眺め



車道から歩行者がよくみえるよう、横断歩道の近くには高木・中低木の植栽をできる限り配置しないでください

車道からの眺め



提言 4 親しまれる大手前通りへ

大手前通り沿道には病院や福祉施設があり、また沿道地区でも高齢化が進行しています。その様な背景から、高齢者などに優しいみちづくりを望む声が多く聞かれました。ベンチや小公園が街路にあれば、買い物や散歩、通院の途中にひと休みすることができます。小公園には、水の都松江を象徴するような水を感じる工夫を加えてはいかがでしょうか。

また現在、大手前通り沿道の北殿町と南殿町では毎年藝行列に参加しています。新しい大手前通りを城下町松江のシンボルロードとするならば、大手前通りを舞台に藝行列や新しいイベントを企画し沿道を盛り上げて行きたいと考えています。そしてイベント実現に向け沿道地区が一体となった組織づくりが必要だと考えています。道路の植樹・清掃においては県・市・沿道地区が一体となって取り組み、地区をあげて親しまれる大手前通りづくりを進めていきましょう。

高齢者がひと休みできるベンチを備え 水を感じることのできる小公園を整備してください



目高池
寺町 駅通り沿い



ヘルンの道
内中原町 亀田橋付近



交差点付近にひと休みできるベンチを設置したイメージ

水を感じる小公園に 水琴窟などいかがでしょうか



事例：兵庫県赤穂市 水琴窟

松江城大手前から総合体育館まで、約1kmの大手前通りを舞台とした
藝行列やなんじゃもんじゃの開花にあわせた祭りを提言します
また、イベントの実現に向け5町内が一体となった組織づくりが必要です



松江藝行列



米子町歩道モデル展示場イルミネーション



事例：石川県輪島市 街路市

大手前通りの植樹・清掃活動を通じて愛着あるみちづくりを
県・市・沿道地区が一体となって進めましょう



事例：松江市 国道9号 ボランティア・ロード



事例：出雲市 出雲市駅前矢尾線 街路市

提言5 水辺を感じられるみちを

米子橋周辺を親水性のある護岸としては、いかがでしょうか



米子橋から米子川の北側を望む

事例：米国テキサス州 サンアントニオ市 リバーウォーク



サンアントニオ市は、人口約119万人の全米第8位の熱帯植物が茂る長期滞在型観光都市です。市内の川を活かした『リバーウォーク』と周辺のホテルや商業施設、劇場、レストラン等の立地により、年間1000万人が訪れる長期滞在型の観光の街となりました。